

まだまだある
EV車やHV車にぴったりの便利ツール！

リョービの電気式刈払機はメンテナンスも簡単で、22mlエンジン式刈払機と同等のパワーを有する。静かな動作音なので場所や時間を気にしないで使えるし、排ガスが出ないのでクリーンな環境で作業できる。車のトランクに収まるコンパクトサイズで、外径230mmの軽量チップソーが付いている。

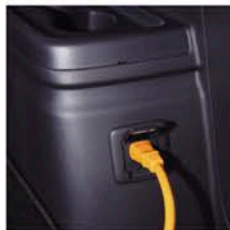


刈払機(分割式) AKS-6000

- 価格：36,612円
- 電源：単相100V
- 電流：5.8A
- 消費電力：560W
- 質量：5.2kg
- サイズ：長さ1,780×630×360mm

「アウトランダーPHEV」なら、車のラゲージスペースの横にあるコンセントにつなぐだけでOK。取り出せる電力は、1,500Wと家庭用コンセントはほぼ1個相当のパワーがある

※AC100V電源(1500W)はメーカーオプションです



長いハンドルを折りたたみ、車のトランクにコンパクトに収納できる。作業用ブーツや大きなカバンなど、かさばる荷物と一緒に積み込める



ここがPOINT!

1

**エンジン式に相当する
パワフルな動力性能**
リョービが独自に開発した高性能モーターを搭載しているため、排気量50mlのエンジン式並みの馬力がある。



3

本格ナタ爪でしっかり耕うん
刃は曲げ加工を施した鍛造品で、強度のあるナタ爪を採用。土の反転がよく、28cmの深さまで掘り起こすので固い土でもふかふかに。



2

**簡単操作で
ラクラク運転**
耕うんトリガ(スイッチ)を握るだけで始動し、放すと止まる。赤色の低速トリガを使えば方向転換もスムーズにできる。



DATA
電気カルチベータ モデル：ACV-1500
■価格：65,880円 ■最大耕うん幅：360mm
■最大耕深：280mm ■電源：単相100V ■電流：15A
■消費電力：1,400W ■質量：18.5kg
■付属品：抵抗棒(車輪組立)・延長コード(10m)×2・巻き込み防止ガイド・コードストラップ(ベルトフック付き)

また、コンセントに挿すだけですぐ始動することも大きな魅力。三菱自動車の「アウトランダーPHEV」なら、給電機能が付いているので、カルチベータを積んで農園に到着後、ラゲージスペースの横にあるコンセントに挿せばすぐに活躍してくれる。電源さえ確保できれば、家電感覚で誰でもすぐに土を耕すことができるし、機械の扱いが苦手という人でも簡単に操作できる。そんなイチ押し的小型耕うん機なのだ。

持ち運びができる。ハンドルを折りたたみ、車のトランクに収納できるし、タイヤも付いているので移動もスムーズに。ガソリンやカセットボンベを使用するタイプの耕うん機と異なり、排気ガスがゼロなので環境にやさしい。充電の必要はなく、メンテナンスやアフターケアも手間いらずで人にも負担をかけるないスグレもの。

週末田舎暮らしのPOWER TOOL

パワフル&スタイリッシュな
電気式小型耕うん機

文/新堀留奈 撮影/野口彰一



耕すコツは電源に近いところから順番に行うこと。徐々に遠く離れて耕すとコードが邪魔にならず、巻き込みも防げる

コンセントに挿すだけで始動する

趣味の家庭菜園が高じて、貸農園で野菜づくりにハマっている人が多い。週末に、借りている畑での農作業が楽しみなのだという。そんな週末ファーマーのいちばんの悩みは、土のこと。「野菜づくりは土づくりから」といわれているように、柔らかくふかふかの土が理想なのだ。酸素をたくさん含んだ土は水はけがよいので、野菜の根の張りを促進し、丈夫で病気に強い野菜をつくることのできる。だから、土を耕すことは菜園づくりの基本といえる。

敷地内の小さな家庭菜園でも広い農園でも、どこでも土を耕してくれる強い味方が、電気式小型耕うん機の「ACV-1500」。実際に使ってみるとパワーは50mlのエンジン式並みに、動作音はとも静か。これなら住宅街でも安心して使うことができる。ローターには、土の反転性や耐久性に優れている本格的なナタ爪を採用している。だから、固い粘土質の土でも28センチの深さまでふかふかに耕してくれるのだ。

運搬するときも、女性ひとりでも

排気ガス「ゼロ」で
人にも環境にもやさしい

小型耕うん機は、いろいろあって迷うもの。選ぶポイントはとにかく固い土を耕すか、にある。電気式なのにエンジン式並みのパワーで、操作も簡単な上に持ち運びもラクにできるリョービの「電気耕うん機」がおすすめ!